

カナダの有名人と言えば、歌手のジャスティン・ビーバーがその頂点に立っています。オンタリオ州出身の彼はデビューした後、すぐに世界中の乙女に愛され、十代にして一躍世界一のポップスターになりました。16歳のジャスティン・ビーバーは「世界で最もグーグルで検索される人」の一位で、2010年のシングル「Baby」は大ヒットし、「YouTubeで最もいいねをもらったビデオ」の一位になりました。

幼い頃から有名人になったせいかもしれませんが、20歳前後のジャスティン・ビーバーはとても不安定で、態度も悪く、色んな事件を起こしたと報じられています。

国際交流員（リリー）が紹介する「カナダの文化」



JUSTIN BIEBER

実はカナダ人ですよ

カナダの有名人①

2014年は冬季五輪の時期で、当時、カナダとアメリカはホッケーの試合があり、「負けた国はジャスティン・ビーバーをもらう」という冗談もありました。

(結局アメリカが負けました。)

2019年、ジャスティン・ビーバーはヘイリー・ボールドウィンと結婚して、イメージが大分変わりました。大人になって、悪い評判が段々少なくなりました。曲も高く評価されるようになり、「いい夫」のイメージが強くなっています。ジャスティン・ビーバーは最初「国民的アイドル」のイメージでデビューし、「お騒がせ芸能人」の時期もありましたが、今はどんどん平凡に戻って、家庭の幸せを体験しているそうです。

今週の英語コーナー:

私はジャスティン・ビーバーの大ファンです。

I am a belieber.

アイ アム ア ベリーバー。